

2024年度愛知県成年後見制度利用推進研修

法人後見実施団体養成研修

社会福祉法人による法人後見の取組

2024.10.8

社会福祉法人百千鳥福祉会(愛知県長久手市)

理事長 竹田 晴幸

自己紹介・ 法人後見活 動への動機

相談員としての好奇心 と 万感の思い、願い

※ 話すと長くなるので割愛

はじめに

- ・ ある程度、後見人の活動を理解していたつもりが、実務として「**やってみないと分からなかったことが多い**」ことに気づいた。その分自らも、法人も、成長につながった。
 - ・ **中核機関として**監督人でもあった、住田センター長をはじめ、あすライツ(愛知県日進市)の皆様のサポートや助言がなければ、**全体的に活動としてはままならなかった**。この場を借りて深く感謝を申し上げたい。
- ※ **ケアマネジャー、障害者相談支援とはまた異なる領域**だと確認できた。

事例の詳細のため、受講者のみに配付

要約すると・・・

- ・ 親類はいるが、近隣でも高齢であったり、ダブル介護状態のため、また遠方他県在住のため、直接的な支援はほぼ期待できない状態

※ 最近、名古屋市では増加している事例、後に聞き及んだ

- ・ 資産は多額にあれど、遣いきれない、ほとんど遣われていない状態
(非常に、つつましい生活。どんどんお金はたまっていく状態)

☆ 受任したばかりの頃の問題

1. 御本人はあまり多くを望まれていなかった
 - ・ 「大好きだったご主人と過ごした家で最期まで」が強い意向としてあった。
 - ・ ただし、ご本人の意向とは逆に、周囲からは、御本人に認知症があり、一人暮らしは危険だと既に言われていた。ドクターからも強く入所を勧奨され、すぐにもプレッシャーがかかってきた。

感想「(最初から求められても)よくわからないから、判断できない」



保佐人とは何か？ いつも、最後の最後まで必ず説明していた

2. 独居であること、ご本人が認知症であり記憶が定かでないため、トラブルが多く、何かあれば「**保佐人、なんとかして**」といわれた

ケアマネージャー	日曜日は担当がいらないから
サービス提供事業所	時間外で終わりだから
医師	物の管理や移動は、保佐人の仕事だろう？ 施設入所は、保佐人が決めるのに何故できないのか？
親類から	全部お任せすればよいですね

感想「**後見人の仕事・役割は 実は世の中、誰もわかっていないのでは?**」

☆ 認知症や末期がんであると、お金があっても自宅で住み続けられないのだろうか？

3. あすライツ監督人や関係者で、御本人に、ターミナルになった際の
意思確認を行った

難しいこと、聞きづらいことにも、きちんとご本人なりに応えられていた
(きちんと聞くべきことは聞くべきだと、**意思決定支援の大切さを学べた**)

最初から最期まで、思い出のある家で暮らしたいと言われていたが、叶える
ことはできなかった → なぜか・・・



☆ 保佐人は、ご本人が亡くなった日までが担当だが、ご本人の死亡の立会から、葬儀の手配、その後家族相談を今もずっとしている

- ・ 約8カ月の保佐人就職だった。
 - ・ 法人後見は後から請求 家裁からの報酬決定。
もちろん、これでは人は雇えない。
 - ・ 一体、何件まで一人で持てるのかな?と考えている。
 - ・ 身上監護への評価ではなく、財産管理の額によると思われた。
 - ・ かなり**広範な専門的知識**と人の感情や関係を図る
バランス感覚や倫理観が必要と感じた。**福祉専門職でもかなり難しい。**
-



まとめ

- ・ 詳しい支援経過は別添ご参照ください
まだまだ駆け出しの一意見ですので、ご容赦ください。
- ・ 事業として成立するための今の考え方は・・・
 - ① お金のかからない自分が一年間10件程度受任する(できるなら) → 公的委託はない前提
 - ② 翌年に、パートの方をひとり採用する
 - ③ 採算は考えず、それを繰り返し、約10年程で
常勤担当者が一人配置できるかもしれない
 - ④ 中核機関や行政との連携は必須(指導者、客観視のため)

ご清聴ありがとうございました